



AJU 愛実

編集：特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実
(大地の家／愛実友だちの家／紙風船)

第17号 会報

定価：一部50円

| | | |
|-------------------|---|--------|
| 理事長 島しづ子より | ・ | P1 |
| 事務所より | ・ | P2 |
| 愛実友だちの家のページ | ・ | P3~4 |
| 大地の家のページ | ・ | P5~6 |
| 紙風船のページ | ・ | P7~10 |
| 2011年度定期総会報告・会計報告 | ・ | P11~12 |
| 「Andante」／南 寿樹 | ・ | P13 |
| 寄付者名簿 | ・ | P14 |



愛実友だちの家
「戸田川でBBQ」



紙風船
「チャリティウォーク」



大地の家
「白鳥公園で花見」



「私たちの仕事」

島 しづ子

未曾有の大地震・大津波・福島原発の事故から三ヶ月、被災された方々、大切な方々を亡くされた方々に心からお見舞い申し上げます。

「未曾有」ということで被害が避けられなかったかのように語られた震災直後の頃、その言葉が語られるたびに苛立ちを覚えました。それでこの言葉の意味を調べてみました。「いまだかつてないこと」「きわめて珍しいこと」「仏教用語で仏の功德の尊さや神秘的なことを賛嘆した言葉であった」「鎌倉末期に原義が転じて、善悪両方の意味で用いられるようになり、現代では『未曾有の事件』というように悪い意味で用いられることも多い」とありました。では今回の地震や津波が本来の意味で「未曾有」だったのかと調べたら、1896年6月15日に「明治三陸地震津波」があり、今回も被害のあった大船渡町三陸町綾里で38.2m（一説では50m）の津波があり、死者22,066人。1771年4月24日には八重山地震、明和の大津波があり、石垣島で85.4m死者12,000人。2000年の間にはもっと多くの地震や津波があったという記録があります。私の苛立ちは予想できたこと、警告されていたことを想定しないようにしておいて「想定外」と言う言葉で責任を転嫁することに対する怒りでした。人間の自分に都合のいい情報しか選びたくない姿勢を猛省させられた次第です。

被災地の現実には抜き差しならない状況ですから、助け合っていきたいと切に思います。こういう状況でこんな言葉を聞きました。「自分のようなものが生きていて、元気なものが死んでいく、代わりに死にたい」若ければ若いほどその死は残念に思われます。その気持ちの中には生きる価値とか人間の有用性とかが比重を占めているのではないかと思います。

よくこどもは「大人になったらどんな仕事がしたい」と質問されます。その問いは「お父さんになる、お母さんになる」とか、何かの職業につくということが前提となっています。「お仕事はなんですか？」「どこに通っていますか」と当たり前のような質問ですが、答えるのが辛い人もいます。私もしばらく教会の所属を離れた時、職業を聞かれると困りました。「牧師です」と言うと、「どこの教会ですか？」と聞かれ、「所属はありません。」と答えるともぐりの牧師みたいに不審な顔をされました。それから所属や職業が自分を規定することに疑問を持ってきたように思います。今、いくつかの職名を頂いていますが、どれを使うかは場所によって違います。それぞれの役目を大事に思っていますが、そのうちの一つを言っても自分ではない気がしてしまいます。それにそれらを引退したら私は仕事が無くなるのでしょうか。

私の結論はこうです、「シマ シヅコという人生」を仕事としよう。限られた時間、限られた期間に自分が従事することだけが仕事ではなく、生まれてから死ぬまで、私たちは自分の人生を生きる、という仕事を与えられています。それは愛実の会のメンバーを見ていると余計にそうだ！と思わされます。不自由なときも、楽しいときも、自分の環境・人生と自分の気持ちの折り合いをつけながら生きています。その生そのものが誰にも真似の出来ない大事業だと思います。「仕事は何ですか？」「はい、わたし〇〇 〇〇を生きる仕事です」で通用するようになったら面白いなあ。すると職業でその人を理解したような錯覚は出来なくなり、相手に関心を持っていろいろ観察したり、聞いたりするようになるかな。

震災を通して助かった命も亡くなった命も共に大事な命であったと痛感しました。今日は愛実の会のボランティアとして長くご奉仕下さり、沢山の笑いを届けてくださった方の葬儀でした。なにもお返しが出来なかったという思いで一杯です。その方が病床で味わった聖句が葬儀式次第に書かれていました。

神はそのなさることをいちいち説明されない。(ヨブ記33章13節b) アーメン(ヘブル語で本当に、まことにの意味)。

今までの歩みを振り返って

中森由哉

NPO 法人愛実の会は、任意団体だった愛実の会と、同じく任意団体だった紙風船が共同して2007年に設立されました。私は1995年より任意団体愛実の会で勤務を始めて早いもので17年目となりました。自分が関わり始めての歩みを振り返ってみると、当時と今では本当に大きく変化したなあ、としみじみ感じるがあります。もともと愛実の会は養護学校を卒業した後の重度の障がいのあるメンバーの行き先を、自分たちで創っていきこうと始められた会であると聴いております。そして私が勤務を始めた1995年より、以前から実施されていた少人数の日中活動を名古屋市の補助金を受けて行える事となりました。その後、メンバーの生活を真にサポートするためには日中活動はもちろん大切ですが、それ以外の時間についても考えていくことが必要ということが実感されていきました。そこで同じ1995年より独自にナイトケアサービスも開始しました。一方1996年には紙風船が、人形劇を自己表現とする活動を開始しました。2003年からは小規模作業所という位置付けで人形劇を仕事として活動を続けてきました。同じ2003年からは愛実の会でホームヘルプサービスを開始致しました。両団体がメンバーのサポートにじっくりと取り組みつつ制度も活用して歩んでいく中で、障がい者自立支援法という法律の実態もあり、2006年よりこの小さな2つの団体が合併して1つとなり共にメンバーのサポートをして行こうという協議が持たれ、2007年4月よりNPO 法人愛実の会という1つの法人のもとで歩みを続けています。

これからどのような変化があるか判りませんが、メンバーへのより充実したサポートを常に念頭に置きつつ歩んで参りたいと思っております。

◆ 勉強会を実施しました ◆

5月11日(水)理学療法士の石田さんを講師に迎え、摂食・嚥下についての講習会を行いました。嚥下の仕組みや誤嚥の予防方法などを、スライドやDVDを用いてわかりやすく説明して下さい、普段何気なく行っている食事や水分の介助を見直す良いきっかけとなりました。質疑応答では、普段食事・水分介助について抱えている疑問や不安の答えや、介助が難しいメンバーへの個々の対応の仕方についても教えて下さいました。多種多様なメンバーの嚥下機能に対応していけるよう、これからもより安全な介助を目指してアシスタント一同努力していきたいと思っております。



愛実友だちの家のページ

(P 3~4)

今年の春は、寒い日が多く、少し春らしくなったなあと思ったら雨続き。四季の移ろいを楽しむ間もなく、梅雨、そして夏を迎えそうです。ゆったりとした時間を過ごすことが得意なあみともメンバーなので、めまぐるしい季節の移り変わりで体調を崩さないように、のんびりとマイペースに季節の行事を楽しみました。今回は、3月にお越しいただいたエレクトーン奏者の方のご紹介と、母の日の贈り物作り、園芸、大地の家と合同で楽しんだパーベキュー大会についてお伝えしようと思います。

○素敵な演奏をありがとう○

3月の25日に、ボランティアエレクトーン奏者の大矢さんが演奏会を開いてくれました。大矢さんはなんと、マックスヴァリュ千種店のイエローシート投函箱で愛実の会をお知りになり、大矢さんの方からご連絡を下さっての演奏会の実現でした。地域の方々、世の中のできるだけ多くの方々に、メンバーの存在や頑張りを知って興味をもってもらえたらとは常々思っていますが、こんな風にアプローチ下さる方がいるということは本当に幸せだなあと思いつつ、素晴らしい演奏に耳を傾けました。ありがとうございました。



♥お母さん、ありがとう♥



今年の母の日の贈り物はフェルトソープ。フェルトソープとは、羊毛フェルトを石けんにまきつけたもののことで、香りの良い石けんを利用して、ポプリ代わりに筆筒やお部屋にしのばせておくようなものです。羊毛を巻きつけてあるので、石けんとして使う場合はとても泡立ちが良く、洗顔石けんとして使うこともできます。素人が作った物だと羊毛がボサボサ取れてしまうので今回は芳香剤として贈ることにしました。さらに、牛乳パックをリサイクルしたギフトボックスも作ったりして、日頃お世話になっているお家の方に精一杯の感謝の気持ちを伝えることができるよう、メンバーとアシスタントが協力して作った愛の力作です。6月は父の日の贈り物も作ります。こちらはこれからの季節に役立ちそうな物を作ろうかと計画中。贈り物はもらう方も贈る方もわくわくして楽しいですね。

○今年も園芸、始めました○



五番町で過ごしていた頃は、カボチャやミニトマト、ラベンダーの栽培に挑戦したことがあるあみとも。ムシワキや草むしりに追われ、収穫は今一つだったことから、園芸には向いていないとあきらめていましたが、今年は一念発起して再挑戦！

まず最初に栽培キットでミズナ、大葉、バジルの種をまきました。。。が、間引きの段階で何かを失敗したらしく全滅。気を取り直してミニトマトの苗を植え、こちらはプランターですくすく育ち、間もなく収穫第一弾ができそうな予感です。土や野菜の香りを嗅ぎながら、普段口にする物がどんなふうになるのか、メンバーとともに楽しんでいきたいと思えます。

♪今年もバーベキュー大会やりました♪

去年は移転したばかりということでバーベキュー大会は見送りましたが、今年は1年ぶりに戸田川緑地公園で開催することができました。バーベキューが初体験のメンバーから、家族とのバーベキュー経験ありのメンバーまで様々ですが、今年は気候も良く、どのメンバーも広々とした公園が気持ち良さそう！！と思いきや、前日までの雨雲がいつまでも居座り、晴れたり曇ったり風が吹いたり、食事中に風でお皿や貴重なお肉が飛んで行ってしまったこともしばしば。それでもそんなことにはめげず、みんなありったけのお肉を平らげました。お腹一杯食べた後は広々休憩室でお昼寝。帰り際ににわか雨が降りましたが、大地と愛実のパワーでバーベキュー大会、無事やり終えることができました。当日ボランティアでお手伝いして下さった方々には深く感謝いたします。





大地の家のページ

(P5~6)

科学館にお出かけ

今年の3月にリニューアルオープンしたばかりの名古屋市科学館にお出かけしてきました☆ 世界最大だという直径35mのプラネタリウムドームは外から見てもすごい迫力。「ここに入って星を観るんだよ～」と話しかけると、メンバーたちはニコニコととても楽しみにしている様子でした。



団体予約の受付も済ませ、いざ館内観賞！ …の前にまずはやっぱり腹ごしらえです。科学館にあるカフェレストランで、メンバー自身が自分の食べたいメニューを選んでテイクアウトしました。白川公園でランチの予定が、外はあいにくの小雨。館内で食べることにしたのですが、やはり話題のスポットだけあって科学館は大賑わい。大きな休憩室はほぼ埋まっていたため、昼食場所を求めて館内をウロウロ…。エレベーターで上がったたり下がったり、複数の館を移動したりしながら、ようやく空いている休憩室で昼食にありつくことが出来ました。待っただけあって美味しさもひとしおなのか…メンバーたちはみんなペロリと美味しそうに召し上がっていました。

昼食後はプラネタリウムが始まるまで館内を散策することに。科学館には見るだけでなく、実際に触れたり体験したりできる展示がたくさん。メンバーたちも自分の出来る範囲で手を使いながら、展示を楽しみました。ボタンを押して竜巻を発生させてみたり、滑車のひもを引いて重さを体感してみたり、ハンドルを回して歯車が噛み合う様子を見たり…。自分の身体で『科学』をダイレクトに感じる事ができ、メンバーたちはとても嬉しそうでした。

そしていよいよお待ちかねのプラネタリウムへ♪ 一部メンバーは車椅子から観賞用のリクライニングチェアに移ってリラックスしたご様子。やがて上映開始時刻になると、学芸員さんの解説と共に、スクリーンに星空が映されていきます。巨大ドームの中で観る星空は、まるで本当に空を見上げているかのよう。じっと見ていると吸い込まれてしまいそうな感覚に陥るほどでした。名古屋ではほとんど見られない満天の星空に、メンバーたちは興味津々。また星空以外にも、土星をズームしていろいろな角度から眺めるなど、実際の空では味わえない場面も観ることができ、あっという間の40分間でした。



メンバーの中には暗い所や大きな音が苦手だという方も結構いるため、大丈夫かと心配していたのですが、実際に上映が始まるとメンバーたちはすっかり夢中で、綺麗な星空に見入っていました。

また、楽しくてついつい声が出てしまう一部のメンバーは、遮音室の中で観賞させていただきました。声などを80%遮ってくれるので、周囲に気兼ねすることなく観賞でき、とてもありがたかったです。スピーカーで会場の音声やBGMを聴くこともできるため、会場と同じように星空を楽しむことができました。

プラネタリウム終了後は自由行動。気になる展示を楽しんだり、ゆっくりティータイムを楽しんだりと思い思いに過ごしました。自由時間は1時間ほどありましたが、あっという間に集合時間に。ぜひまた別の機会にゆっくり展示を観に来たいと思います。

駐車場への帰り道は、散策もかねて白川公園の中を歩きました。新緑の中で風を受けながら歩くのは心地よく、いい気分転換になりました。ただ、途中で歩道橋があったのですが、かなり傾斜がきつく、雨で少し濡れていたため、車椅子を押して上り下りするのはとっても大変でした…(-_-;) また、当初は歩道橋手前の身障者用駐車場に停めていたリフト車を「8ナンバー(特種用途自動車)だから」という理由で移動させられた経緯もあり、車椅子でのおでかけの大変さを改めて感じました。それでもメンバーたちは前向きで、むしろ歩道橋からの景色や、「上がらない！」と苦戦するアシスタントを見てニコニコ。かなわないなあ、と思う瞬間でした。

リニューアル後初めての科学館への外出で、戸惑うことも多かったですが、プラネタリウムや展示などで非日常的な体験を楽しむメンバーを見ていると、行ってよかったなあ、と嬉しくなった1日でした♪



新メンバー紹介



☆K・Aさん☆

今年の春から大地の家に通所してくれているKAさん。ふとした瞬間に見せる無邪気な笑顔が素敵な方で、大地の家の雰囲気をも明るくしてくれています。

卒業したばかりで、環境の変化に戸惑うことも多いと思いますが、一緒に少しずつ慣れていきましょうね♪
よろしくお祈りします(^▽^*)

日々の活動の様子など随時更新中です♪
大地の家のブログ <http://ameblo.jp/daichi-no-ie/>

紙風船のページ

(P7~10)

今年度に入り平日の公演依頼も少しずつ入ってきて、なんとか毎月1回のペースで公演活動を行っています。先の公演予定をみるたびに、ほんとに嬉しいなあ日々感じています。そんな中、先日は重症心身障がい児（者）を守る会の総会にて「モコちゃん」の公演がありました。

最近では、新作新作の毎日で「モコちゃん」の公演は昨年8月以来でしたので、必死になってメンバーもアシスタントも稽古を行い、何とか無事に公演を終えることができました。とホッとしたのもつかの間、次はまた違う作品の公演です！気持ちを切り替えて、メンバー、アシスタントともあたふたと練習に励む毎日です。



時に「つかれた〜」「もう嫌だ〜」と言いながらもやるとなったら、しんどい身体を奮い立たせて一生懸命練習し、また本番では、緊張するアシスタントを横目に、堂々とそれぞれ自分の役割を演じていくメンバーの姿に圧倒されるばかりです。アシスタントはたくさん笑顔で楽しく、時に真剣（いつも？）に人形劇に取り組むメンバーたちにいつも力をもらっています！



また5月22日（日）にはモリコロパークで開催された米国商工会議所主催のチャリティーウォークソンに参加してきました。当日はあいにくの雨・・・にもかかわらずメンバーは全員集合！雨の為、残念ながら公園内を歩くことはできませんでしたが、室内で行われていた催し物に参加したり、他の団体の皆さんに紙風船のチラシを配ったりと、メンバーたちは積極的に宣伝を行ってきました。



今年度の紙風船のテーマは『月一回は公演しよう！～人形劇を通してたくさんの人と交流しよう～』です。「出会い・交流」そして「つながる」は紙風船が常に掲げている大きなテーマです。

2011年度は新作をもって、いろんなところに出向いていきます！

また地域の方とも交流したいと思います。

そのためにもまずは自分たちから積極的に紙風船をアピールし宣伝していく事が大きな目標です☆ みなさんもどこかでぜひ一度人形劇を見に来てくださいね！

レクリエーションで 映画を見に行きました



5月25日(水)ベイシティへ映画を見に行きました！
普段なかなか映画を観に来れないメンバーもいるため、
それぞれ楽しみに参加されました。

中には3D眼鏡をはめて「ガリバー」をみたり
「パイレーツ・オブ・カリビアン」の迫力を大画面で
楽しんだり、「岳」をみたメンバーは感動で涙、涙だったそうです。



今回のレクでは4つのグループに分かれた為、
メンバーがばらばらになってしまい、なかなかみんな
で一緒に楽しんだり、ゆっくり顔を合わせてお話しする
ことができなくて少々残念でしたが、それぞれ各グループの
映画を思い思いに楽しむことができた事は、メンバーさんの
様子から感じました。

次回のレクは10月です！
また楽しい企画考えて行きましょう！

紙風船に新しいアシスタントが 増えました！

メンバーが描いてくれた
似顔絵でご紹介☆

正規アシスタントとして
4月から働いています。
出合いを大切に頑張
っていくので、よろしく
お願いします。 森 一真



ようこそ!!



パートアシスタントとして
2月からお手伝いをさせても
らっています。
まだまだ足りないことばかり
ですが、メンバーさんに教え
てもらいながら頑張ります。
よろしくお願いします。

服部 由岐

メンバーからの一言

ぼくが紙風船に入って3年。今まで音響でしか関わっていませんでしたが、
新作ができてから舞台上で演じるようになりました。
舞台上上がると音響をやる以上に緊張しますが楽しくなってきました。
これからもどんどん公演をやっていきたいと思ひます。



K. T

※ 今回からあとがきをやめメンバーからの一言として掲載していきます！
いろんなメンバーのつぶやきをお楽しみに☆

<メンバーの思い>

「がんばろう 僕たち」

鈴木重利

大きな地震があり、東北地方ではみんなが大変な中頑張っています。僕たち東海地方もいつか来るとテレビで言っていて、ちょっと心配です。今出来ることは募金なので、少しずつしています。

僕たちは人形劇をやっていて、とても楽しいし、元気になれる。だから地震や津波にあった子どもたちに、人形劇を見てもらえたら嬉しいのにな～。

楽しんでもらえ、元気になってもらえたらいいのにな～。

僕たちががんばれる事なのになあ～

大好きな人形劇をしながら、毎日元気で施設で過ごせて嬉しいです。

いっぱい感謝してガンバロウ！！

僕たちのガンバリが東北にもつながっていきますように！！

新作の3作品がたくさん公演できますように！！



<協力者の思い>

「前を向いて歩こう」

アシスタント 奥平あい

愛実の会では利用者さんのことをメンバーさん、職員のことをアシスタントと呼んでいます！私は、この呼び方が気に入りました。

そして紙風船といえば人形劇です。私は紙風船の仲間になってまだまだ2年目。紙風船に入るまでは人形劇に興味をもったことはありませんでした。紙風船の人形劇に私も入るようになり、人形劇の難しさ、楽しさを知りました。

メンバーのみなさんは障がいを持ちながらも、毎日真剣に人形劇の練習に取り組んでいます。メンバーのプロ意識に驚きます！！

三位一体という言葉があります。人形とメンバーとアシスタントでひとつになり人形に命をあたえて演じるのです。これは紙風船の人形劇のスタイル。私はアシスタントなのでメンバーの後ろで車イスを動かします。三位一体になるためには、人形の動きを考えて車イスを動かさないといけなくてなかなか難しいです。紙風船の人形劇がより良く進化していけるように、これからも頑張りたいです。

最後に私の好きな言葉を紹介します。

どんなに悔やんでも過去は変えられない。

どんなに頑張っても過去には戻れない。

だったらもう前を向いて歩くしかない。

「起こったことはすべて正しい」

「選択したものはすべて正しかったんだ」

…そう思いながら歩いています。



【公演だよ！】

第123回 2011年3月24日(木) ボランティア公演「ほくたちにできること」



今回初めてご近所(地域)の方に声をかけて、私たちの人形劇を見に来てもらいました。当日は、学校が終業式という事もあって、地域の子もたくさん見に来てくれました。また演じた後、お客さんから「よかったよ!」「面白かったよ」と声をかけてもらいとても嬉しかったです。お見送りの時来てくれた方たちに、手作りのオリジナル缶バッチをプレゼントしました。これからも、地域の方たちと仲良くするきっかけとして、紙風船でまた人形劇ができればいいなあと思います。

第124回 愛知重症心身障がい児(者)を守る会総会にて

愛知県社会福祉会館「モコちゃん」

久しぶりのモコちゃんの公演でした。紙風船のメンバーの1人が守る会の一員でもある事をきっかけに今回紙風船を総会によんでくださいました。

私たちも、久しぶりのモコちゃんの公演で、それぞれ緊張しながらも思いっきり演じました。守る会の方たちからは紙風船のあたたかい雰囲気がとてもよかったと声をかけていただいたり、公演後実際に人形を見たりととても興味を持っていただくことができ、嬉しかったです。



第125回 有松絞りまつりで人形劇まつり 有松小学校にて 「かめさんのありがとう」



6月4日、5日の2日間にわたり開催された「有松絞りまつりで人形劇まつり」に参加させていただくことができました。今回絞りまつりで人形劇を上演するという事は初の試みだったようですが、子供たちもたくさん集まってくれていて、またメンバーさんの知り合いの方もたくさん見に来てくださり、とても気合いの入った演技ができました。最後は曲に合わせ手拍子もしていただき、私たちもとても楽しく公演を行う事ができました。今回現地のスタッフとしていろいろと、ご配慮いただいたり、手伝っていただいたむすび座の皆さんにも本当に感謝しています。ありがとうございました。

今後の公演予定に関してはホームページをご覧ください

紙風船夢づくり基金へのご協力をお願い

紙風船では人形劇に関する資金(人形劇に関する道具等の購入費・公演活動経費)のご協力を引き続き募っています。今後も継続して充実した人形劇活動をしていく為、どうぞご協力よろしくお願いいたします。

郵便振替 □座番号 00850-6-187490
□座名称 特定非営利活動法人 愛実の会
※備考欄に「夢づくり基金」とご明記ください

2011 年度定期総会報告

中森由哉

2011年5月28日(土)夕に当法人の定期総会が開催されました。場所は障がい者デイセンター愛実(当法人が運営する生活介護事業所=通所サービス)の活動室で、出席者は議場出席19名、委任状出席14名の計33名で、議員総数50名なので過半数の出席があり予定通り開催となりました。

内容は、2010年度の事業報告・2010年度決算・2011年度事業計画・2011年度予算案・定款変更で、いずれも承認可決されました。

審議の中で、3月11日の東日本大震災があったことで、この地域も地震の危険性が言われていること、当法人の所在地が津波の警戒地域となっていることから、防災対策が緊急の課題であることを確認しました。今からどんな備えが必要か、実際に事が起きた時どうすべきか、といったことを検討していきたいと思えます。

また定款変更については、昨年末から法人独自サービスを開始したため定款の変更がありました。独自サービスとは現行の法律や制度にはない内容だがメンバーの生活上必要なサービスとして愛実の会独自に定めたもので、当法人にとってメインの事業ではありませんがメンバーの生活サポートにとって有効であると思っております。

会計面では、2010年度は移転1年目で不安もありましたが、なんとか乗り切ることが出来ました。ただ事業収入だけでは赤字で皆様からの寄付金があって初めて運営が保たれたのが現状でした。2011年度も予算上厳しさを感じておりますが、皆様のご協力を頂きながら乗り越えて参りたいと思っております。

昨年度より新しい場所での活動を開始して今年度は2年目になります。活動内容も地域とのつながりもより強化していくことを目指し、今後も歩んで参りたいと思っております。

法人全体研修会報告

中森由哉

当法人は2007年1月にNPO法人格を取得し、2007年4月より障害者自立支援法に基づく生活介護事業(通所サービス)と居宅介護事業(ホームヘルプ)を開始しました。そして、翌年度の2008年度より、毎年4月29日に法人全体研修会を開催しています。アシスタントと理事が今までの歩みを振り返り、今考えていること悩んでいることを聴き合い知り合い、今後の歩みを見つめるために実施しています。今年度は伏見ライフプラザを会場に、32名の参加でした。

午前「重度の障がいのある方の地域生活」をテーマに、先輩法人であるAJU 自立の家山田昭義氏より「当事者主体を貫く」と題して講演して頂きました。ご自身とAJU 自立の家の歩みと現状、思いをお話し下さいました。最後に「ここにいる障がいのある方が何を求めているかを知り、それに応えていくことだ」と言われ、このことは単純だが見失いがちである現状を思われ、改めてこのことに立ち返る必要を思いました。

午後は、救急法の講習会でした。日赤より講師の方に来て頂き、心肺蘇生法とAED使用方法を講義と実技で学びました。本当に緊急事態になったとき冷静に対応することは非常に困難と思わざるを得ませんが、救急法を学ぶことによって、緊急の現場に立ち会ったとき、何か出来る可能性は高くなると感じました。ただ1回学んで大丈夫というわけではなく、繰り返し学んで少しでも自分の頭と身体に叩き込む必要があると思いました。

従来は内輪だけでこの全体研修会を実施したこともありましたが、今回の研修では外部より講師をお招きしました。内輪だけで行なうことが決して悪いわけではないのですが、外部からお呼びすることによって、内部だけでは出てこない内容を学ぶことができ、より良い研修の機会となったのではと感じています。

2010年度 特定非営利活動に係わる事業会計 収支計算書

2010年4月1日～2011年3月31日

(単位 円)

特定非営利活動法人 愛実の会

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 備 考 |
|--------------|-------------|-------------|-------------------|
| I 経常収入の部 | | | |
| 1 会費収入 | 150,000 | 168,000 | 正会員50名 |
| 2 寄付金収入 | 6,400,000 | 8,352,426 | |
| 1) 賛助会費収入 | 400,000 | 368,000 | |
| 2) 寄付金収入 | 4,500,000 | 6,364,426 | 車両愛鈴号寄贈・土地建物寄付を含む |
| 3) 紙風船夢づくり収入 | 1,500,000 | 1,620,000 | 新作人形劇製作費 |
| 3 事業収入 | 112,638,000 | 115,526,324 | |
| 1) 自立支援費収入 | 84,560,000 | 86,868,861 | |
| 2) 利用者負担収入 | 53,000 | 5,750 | |
| 3) 補助金収入 | 25,675,000 | 25,927,473 | 重心加算・送迎補助金 |
| 4) 食費収入 | 2,350,000 | 2,721,240 | 利用者・職員給食代 |
| 5) 他利用料収入 | 0 | 3,000 | 独自サービス |
| 4 営業外収入 | 825,000 | 771,249 | |
| 1) 就労支援事業収入 | 100,000 | 26,472 | 紙風船公演活動・軽作業収入等 |
| 2) 雑収入 | 725,000 | 744,777 | 自販機・駐車場利用料・受取利息等 |
| 経常収入合計 | 120,013,000 | 124,817,999 | |
| II 経常支出の部 | | | |
| 1 直接処遇事業費 | 3,950,000 | 4,118,881 | 給食費・保健衛生費・教養娯楽費 |
| 2 人件費 | 81,310,000 | 82,185,352 | |
| 3 管理運営費 | 24,000,000 | 23,087,921 | |
| 4 その他 | 9,380,000 | 11,671,461 | |
| 1) 営業外費用 | | 1,375,830 | 就労支援事業支出・会場費等 |
| 2) 減価償却費 | | 10,229,631 | 建物・車両・人形劇製作品等 |
| 3) 法人税 | | 66,000 | |
| 5 予備費 | 1,373,000 | 0 | |
| 経常支出合計 | 120,013,000 | 121,063,615 | |
| 経常収支差額 | 0 | 3,754,384 | |

※ 上記支出以外に移転時借入金500万円を返済しています。

Andante

南 寿 樹

Andante (アンダンテ) とは、「ゆっくりと。あるくはやさで」という意味の音楽用語。先日それが題名になっている映画「アンダンテ～稲の旋律～」を観た。

——主人公の千華 (ちか) は親の期待に応えようとピアノの道を歩むが、音楽社会の競争で挫折。またアルバイト先での人間関係づくりもうまくいかず、対人恐怖症になり「ひきこもり」になってしまう。厳格な父親は「こうなったのは、母親の育て方が悪い」と母親を非難し、家族の関係も崩れていく。そんな状況でも千華は農業そのものと農業に携わる人々の温かい人情によって立ち直る。その心を象徴するかのように、緑のジュータンの稲田に吹く風が波の模様を作る光景が印象的だ。真っ青な空を遠景にして田んぼの中で千華役の新妻聖子 (ミュージカル歌手) が歌うエンディングソングが心に沁みこんでくる。

**「思うようには生きていけない 何度も何度も転ぶけれど 見上げる空がほほ笑むから
涙ぬぐって 踏み出そう ゆっくりゆっくり 歩き出そう」**

それは人間賛歌に聞こえた。と同時に「そうありたい」と心に誓ったら、勇気が出た。

さて、この映画「アンダンテ」を刈谷市での上映会として呼んだのは街づくり活動をしている中村正美氏。中村氏は上映前のあいさつで次のように語った。

「先日、ありったけのガソリンを積み込んで東日本大震災の被災地に行ってきました。そこは想像以上に悲惨な状況でした。宮城の中小企業家同友会の仲間を訪ねたのですが、彼は水産加工工場を3つとも流し (ほんとに何もかもなくなってしまった) と言っていました。しかし次に明るく (まあ、従業員ともども命が助かっただけでも儲けもん。人とのつながりがあるから何とかなるでしょう) との言葉。その強さに私の方がかえって元気づけられました。私はがんばれという言葉が嫌いです。そこで (また会いましょう) と別れてきましたが、この映画には被災地の方々にこそ伝えたいメッセージがあります」

中村氏とは、「愛知中小企業家同友会」(中小企業の社長の勉強会) の講演会で知り合った。その講演会も素敵だった。講師は松澤考宏氏 (松澤瓦店代表取締役)。——講演で「ダイヤモンドは、ダイヤモンドでしか磨けないように、人間は人間でしか磨けない」と主張し、「だから障がいのある仲間も家に閉じこもってはいけない。うちの会社では多くの障がい者を雇っているが、障がいのあるなしにかかわらず、お互いを磨き合っている。障がい者雇用をして、悪いことなんて一つもなかった。業績も右肩上がりです」と笑顔で語っていた。中村氏、松澤氏をはじめ愛知中小企業同友会の方々と一緒にいるだけで、私は元気になる。

今回の震災での被災者の方々が、そして日本全体が復興するためのキーワードはまさしく「人とのつながり」であろう。いざとなれば、誰もが優しくつながれると私は信じる。

人生、思うようには生きていけないことも多く、何度も挫折しそうになるけれど、人とのつながりを大切にしてください。

いつか誰の心にも真っ青な空が広がるその日をめざして・・・アンダンテで・・・

NPO愛実の会 寄付者名 (順不同・敬称略)

2011年3月1日～5月31日

★ 賛助会費

渡辺孝之 宇野伸一 鈴木洋子 山中美穂 大木志保子 加藤亜佳子 山崎京子 奥田紘子
中谷塩子 佐藤正章 榎本久美江 宇田ゆき子

★ 紙風船

戸田真二 渡辺孝之 奥田紘子 中森照子 中森由哉 佐藤正章 大島英稔 宮田鈴枝
山中美穂

★ 寄付・その他

新免 貢 中森由哉 中森照子 戸田真二 加藤亜佳子 島しづ子 成田信子 桂 正枝
近藤 洋 石田典子 大淵哲也 清水陸子 相馬和香子 伊藤あつ子 萩原寿美
イエローレシート募金箱 日本基督教団西尾教会婦人会 日本基督教団華陽教会
華陽教会婦人会 名古屋桜山教会シャロンの会 福井神明教会 栄冠幼稚園
愛知教会女性の会 岡崎教会こどもの教会 名古屋ワイズメンズクラブ・メネット会

◆ 寄付金・賛助会費納入のお願い ◆

2010年度決算報告においては車両や物品、そして紙風船の新作人形劇作りのための特別寄付が多数あり、800万円を超える寄付が集まりました。多くの方々に支えられていることに心より感謝申し上げます。

そして更に今年度は500万円を目標に寄付金を募集することになりました。主な目的は以下の通りです。引き続き皆様のご理解とご協力をよろしく願いいたします。

- ① 移転のための借入金返済 年650万円 (7年)
- ② マンツーマン体制の実現のために、今年度正職員を2名増員しました。
- ③ 紙風船の人形劇活動の充実のために＝紙風船夢づくり

任意団体「障がい者・友だちの会・愛実」受付分 (順不同・敬称略)

2011年3月1日～5月31日

今年の東海地方の梅雨入りは早く、梅雨明けも早いのかと思いましたが、例年と余り変わらないとのことでした。梅雨の期間が長くなるのでしょう。体調管理が求められます。皆様お大事になさってください。仕事場までの道沿いには紫陽花が咲いていました。本格的な梅雨の予告、福島や東北の被災地の方々の不便さを思います。待ったなしの対応を願っています。(長村)

★ 寄付金個人・教会

三浦定代 岸本尚子 朽久保濤子 河村久子 青本光子 みどりファミリー
金城教会社会福祉委員会

★ 賛助会費個人

吉谷尚之 (複数回)

ご協力ありがとうございました。

引き続きのご支援よろしく願いいたします。



イエローレシートキャンペーンより寄贈していただきました

NPO法人愛実の会は、イオンで毎月11日に行われる「幸せの黄色いレシートキャンペーン」にジャスコ名古屋みなと店様・千種若宮大通り店様・イオン大高店様に参加させていただいています。このキャンペーンでは、お客様から集められたレシート合計金額の1%

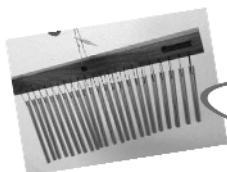


相当の商品を各団体に寄贈して頂きます。今回は紙風船では人形劇で使う為にツリーチャイムという楽器、愛実友だちの家ではアイスクリームメーカーなどお菓子作り用品、大地の家ではミシンとキーボードをいただきました。

どの商品も、活動を送る上で役立つ商品ばかりで本当に嬉しく思います。

寄贈していただいた商品は大切に活用させていただきます。

本当にありがとうございます。



ツリーチャイム



※お詫びと訂正※

会報16号P7 言語聴覚士→×

言語訓練士→○ 誤りがありましたので訂正させていただきます。

【所在地・連絡先】

特定非営利活動（NPO）法人 愛実の会

- 居宅介護事業所あみ（ホームヘルプ）
- 障がい者デイセンター愛実（生活介護）

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番24

TEL：052-693-5897 FAX：052-691-7889

E-mail info@aminokai.com

ホームページ http://www.aminokai.com

「NPO愛実の会」ご支援のお願い

郵便振替 座番号 00850-6-187490
座名称 特定非営利活動法人 愛実の会

- ◆ 賛助会員 NPO愛実の会の活動に対しての費用
- ◆ 土地建物取得 将来のNPO土地建物取得費用
- ◆ 紙風船夢づくり 紙風船の人形製作費、公演活動に関する費用
- ◆ NPO資金 NPOの運営に関する費用

1口1,000円（NPO資金は1口3,000円）何口でも結構です。

ご支援していただける項目を振込用紙に記載の上ご協力お願いいたします。

※ 年2回（夏号と冬号）に「振込料金加入者負担」の「払込用紙」を同封させていただいています。ご利用下さい。